

エコアクション21

環境経営レポート

運用期間:令和3年9月～令和4年3月

沖縄県環境整備センター株式会社

作成日 令和4年6月13日

目次

I	会社概要	・ ・ ・ ・ ・	P	1
II	全体概要図	・ ・ ・ ・ ・	P	2
III	浸出水処理概要	・ ・ ・ ・ ・	P	3
IV	環境経営体制	・ ・ ・ ・ ・	P	4
V	環境経営方針	・ ・ ・ ・ ・	P	5
VI	環境経営目標	・ ・ ・ ・ ・	P	6
VII	環境経営計画	・ ・ ・ ・ ・	P	7
VIII	環境経営目標の実績	・ ・ ・ ・ ・	P	8
IX	環境経営計画の評価	・ ・ ・ ・ ・	P	9
X	環境関連法規への違反・訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ ・	P	10
XI	代表者による全体評価と見直し検討	・ ・ ・ ・ ・	P	11

I 会社概要

1 事業所名および代表者名

事業所名： 沖縄県環境整備センター株式会社(処分場愛称「安和エコパーク」)

代表者名： 照屋義実

2 所在地

所在地： 沖縄県名護市字安和2045番地1

3 事業及び許可内容

事業内容： 廃棄物処理業

許可内容： 産業廃棄物処分業(管理型埋立) 第04731212365号

(許可年月日:令和3年(2021年)6月8日、有効年月日:令和6年(2024年)10月31日)

特別管理産業廃棄物処分業(管理型埋立) 第04781212365号

(許可年月日:令和元年(2019年)11月1日、有効年月日:令和6年(2024年)10月31日)

一般廃棄物処分業 名護市許可第2号

(許可期間:令和3年(2021年)10月23日から令和5年(2023年)10月22日)

4 事業規模

設立年月： 平成25年3月 (搬入作業開始： 令和2年2月)

資本金： 100百万円

従業員等： 5名(常勤役職員5名、他に常駐委託先従業員4名)

売上高： 令和3年度299百万円(事業年度:期首4月～期末3月)

処理実績： 令和元年度(産廃:186t、一廃:0t)、令和2年度(産廃:4,752t、一廃:0t)

令和3年度(産廃:7,343t、一廃:652t)

取扱種類

産業 廃棄物	①燃え殻 ②汚泥(無機性) ③廃油(タールピッチ類に限る) ④廃プラスチック類 ⑤紙くず ⑥木くず ⑦繊維くず ⑧ゴムくず ⑨金属くず ⑩ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ⑪鋳さい ⑫がれき類 ⑬ばいじん ⑭産業廃棄物の処理物(第13号廃棄物) (これらのうち水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等を含まない) ※②④⑤⑥⑦⑩⑪⑬については石綿含有産業廃棄物を含む。
特別管理 産業廃棄物	廃石綿等
一般 廃棄物	①焼却灰(燃え殻、ばいじん) ②不燃ごみ(廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、一般廃棄物の処理物(特定管理一般廃棄物であるものを除く)) ③その他(災害廃棄物)

5 施設等の概要

処分場概要： 産業廃棄物管理型最終処分場

(4分割構造とし、移動可能な覆蓋による被覆型最終処分場)

設置場所： 沖縄県名護市字安和神崎原2027番2、他40筆

設置年月日： 令和元年10月25日

設置許可年月日： 平成29年9月14日

埋立面積： 13,424㎡

埋立容量： 88,008㎥(令和3年3月10日時点の残容量:83,858㎥)

事務所： 274.3㎡(研修室含む)

浸出水処理施設： 286.5㎡

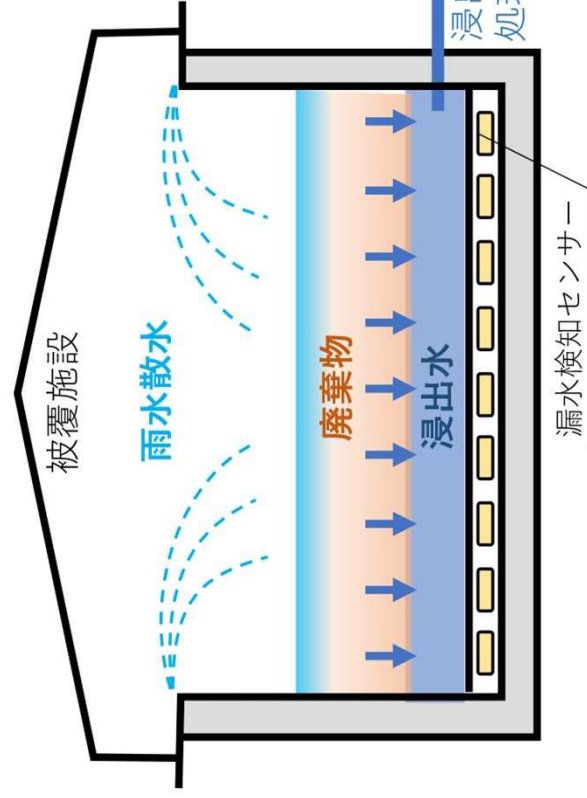
車両等： 処理水運搬車両1台、軽トラック1台、乗用車1台(リース)、重機1台(委託先のリース)

Ⅱ 安和エコパーク概要図

全景写真



模式図



施設平面図



浸出水処理施設

- | | | | |
|---|----------|---|-------|
| 1 | 浸出水調整処理 | 5 | 高度処理 |
| 2 | 第一凝集沈殿処理 | 6 | 消毒・貯留 |
| 3 | 生物処理 | 7 | 汚泥処理 |
| 4 | 第二凝集沈殿処理 | | |

Ⅲ 浸出水処理施設概要図

浸出水処理施設

- 1 浸出水調整設備

浸出水調整設備からの処理水のカルシウムを除去して、処理設備全体にカルシウムスケール障害が生じさせないようします。
- 2 第1凝集沈殿処理設備

第1凝集沈殿処理設備からの処理水のカルシウムを除去して、処理設備全体にカルシウムスケール障害が生じさせないようします。
- 3 生物処理設備

第1凝集沈殿処理設備からの処理水のカルシウムを除去して、処理設備全体にカルシウムスケール障害が生じさせないようします。
- 4 第2凝集沈殿処理設備

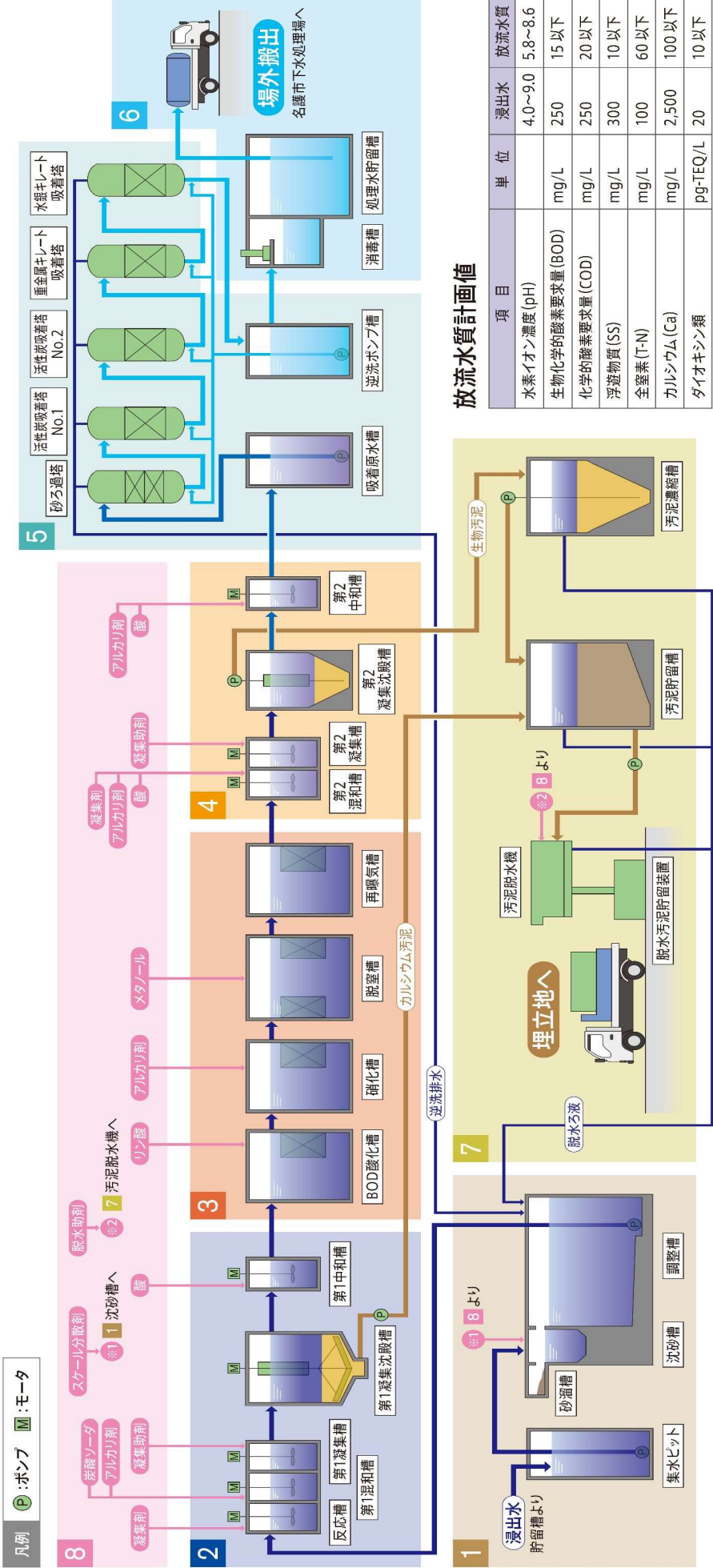
生物処理設備からの処理水のカルシウムを除去して、処理設備全体にカルシウムスケール障害が生じさせないようします。
- 5 高度処理設備

第2凝集沈殿処理設備からの処理水の浮遊物をゆる過で除去、CODや色度等を活性炭により除去、重金属と水銀をキレート樹脂により吸着除去し、さらに良質の処理水にします。
- 6 消毒・貯留設備

高度処理設備からの処理水の消毒時間を必要に満たす。
- 7 汚泥処理設備

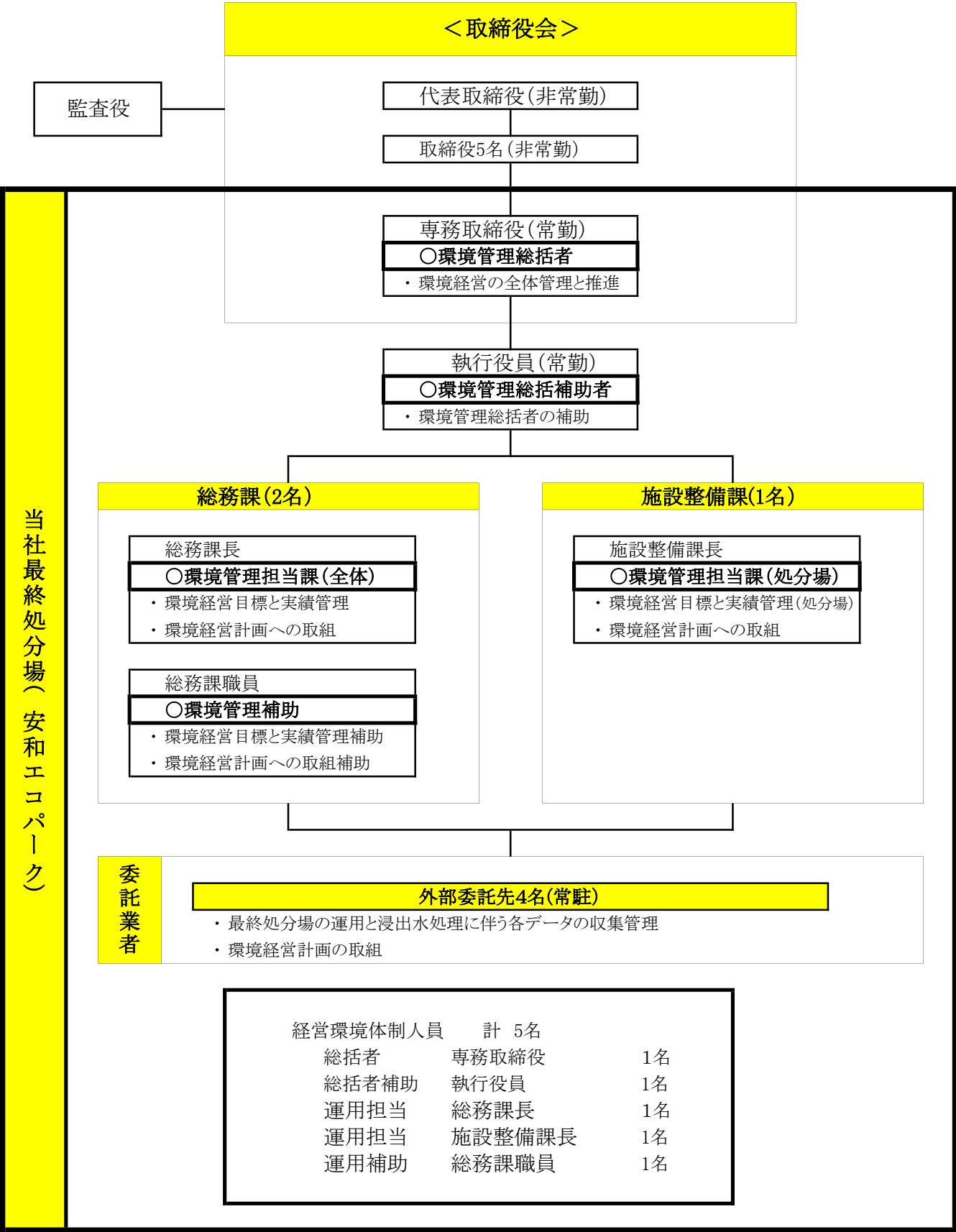
処理過程から排出される汚泥を濃縮・脱水します。
- 8 薬品注入設備

各設備に適切に管理された量の薬品を注入します。



IV 環境経営体制

凡例:	上段	当社役職
	中段	○環境関連体制での割当
	下段	・環境関連の担当作業内容



V 環境経営方針

環境経営方針

当社は、産業廃棄物管理型最終処分場を適正に整備・運営することにより、沖縄県内の生活環境の保全と健全な経済社会の活動を支え、持続可能な循環型社会の構築に向けてその使命を果たすとともに環境経営の持続的改善を実施していきます。

行動指針

1 環境関連法規等の遵守

環境関連法規や地元との環境保全協定を遵守し、安心安全な事業運用を図ります。

2 地元との協調体制確保

安和区内産業廃棄物管理型最終処分場協議会での協議を踏まえ、地元の理解を得ながら事業を遂行します。

3 環境負荷への対応

二酸化炭素の排出削減、水資源の活用と節水、排水の適正処理、廃棄物の排出削減及び化学物質の適正管理に努めます。

4 従業員及び県民の環境意識高揚

従業員(委託先従業員含む)による勉強会を実施し環境についての社内意識を高めるとともに、一般の方々、学生等へ環境等についての研修を実施し、廃棄物処理への認識を深めるとともに環境に対する意識を高めていきます。

5 環境関連データの公表

廃棄物処分量や水質分析結果、環境経営レポート等を公表し、環境活動の啓発に寄与していきます。

制定 令和3年8月2日

沖縄県環境整備センター株式会社
専務取締役 金城賢

VI 環境経営目標

環境経営目標

令和2年度の実績値を基準年として、令和3年度(9～3月)から6年度までの環境目標値を設定している。

期間内容		基準年	実施期間	目標期間			備考
対象年		R2年度	R3/9～4/3月	R4年度	R5年度	R6年度	
項番	目標等 方針	実績値	削減目標等 削減率	削減目標等 削減率	削減目標等 削減率	削減目標等 削減率	
1	環境関連法規等の遵守	法令等遵守	法令等遵守 -	法令等遵守 -	法令等遵守 -	法令等遵守 -	環境関連法規等を遵守する
2	地元との協調体制維持	協調維持	協調維持 -	協調維持 -	協調維持 -	協調維持 -	安和区協議会への参加、行事等への参加により 協調体制を維持する
3 環境負荷への対応							
二酸化炭素排出量	電気 kg-CO2	49,043	28,322 R2年度の 7/12の△1%	48,553 R2年度の △1%	48,553 R2年度の △1%	48,553 R2年度の △1%	実施期間は、9～3月の7ヵ月を対象 各目標期間は、R2年度の△1%を目標と設定
	重機等燃料 kg-CO2	8,408	4,856 R2年度の 7/12の△1%	8,324 R2年度の △1%	8,324 R2年度の △1%	8,324 R2年度の △1%	実施期間は、9～3月の7ヵ月を対象 各目標期間は、R2年度の△1%を目標と設定
	車両燃料 kg-CO2	1,430	826 R2年度の 7/12の△1%	1,416 R2年度の △1%	1,416 R2年度の △1%	1,416 R2年度の △1%	実施期間は、9～3月の7ヵ月を対象 各目標期間は、R2年度の△1%を目標と設定
水道使用量 m ³		136	79 R2年度の 7/12の△1%	135 R2年度の △1%	135 R2年度の △1%	135 R2年度の △1%	実施期間は、9～3月の7ヵ月を対象 各目標期間は、R2年度の△1%を目標と設定
一般廃棄物 排出量 Kg		37.6 (R3/8月の 実績値)	261 R3/8の7ヵ月 分の△1%	447 R3/8の12ヵ月 分の△1%	447 R3/8の12ヵ月 分の△1%	447 R3/8の12ヵ月 分の△1%	実施期間は、9～3月の7ヵ月を対象 各目標期間は、R2年度の△1%を目標と設定
化学物質使用量		適正管理	適正管理 -	適正管理 -	適正管理 -	適正管理 -	対象薬品は、塩化第二鉄のみ。但しその他薬品に についても、管理の適正を確認する
4	従業員及び県民の環境意識高揚	研修見学対応 学校1回 会社等3回	研修見学対応 2回以上	研修見学対応 年6回以上	研修見学対応 年6回以上	研修見学対応 年6回以上	内部勉強会は年1回以上開催 外部からの研修・見学は依頼の都度対応予定
5	環境関連データの公表	各データ公表	各データ公表 -	各データ公表 -	各データ公表 -	各データ公表 -	各月の結果値を、毎月、当社HPへ掲載する

※ LPGについては、年間使用量が極小(2kg程度)のため、上記表に記載していない。

※ 電気の二酸化炭素排出量は、沖縄電力の令和3年1月公表の調整後二酸化炭素排出係数0.787kg-co2/kwhにて算出。

Ⅶ 環境経営計画

環境経営計画

期間内容		基準年	実施期間	主な取組計画	時期、頻度	担当 (全員は委託先含む)
対象年		R2年度	R3/9～4/3月			
項番	目標等 方針	実績値	削減目標等 削減率			
1	環境関連法規等の遵守	法令等遵守	法令等遵守 -	① 関連法規の改定時の適時内容確認 ② 契約手続きの適法性確保 ③ 環境保全協定の随時確認	① 通年 ② 契約の都度 ③ 通年	総務課
2	地元との協調体制維持	協調維持	協調維持 -	① 安和地区産廃協議会会議への参加 ② 環境保全協定の随時確認 ③ 地元行事等への積極参加	① 通年 ② 通年 ③ 行事の都度	総務課
3 環境負荷への対応						
二酸化炭素排出量	電気 kg-CO2	49,043	28,322 R2年度の 7/12の△1%	① エアコンの適切な運用(夏場24～28° 設定等) ② 照明の適切な運用(不要な照明の消灯等)	① 通年 ② 通年	全員
	重機等燃料 kg-CO2	8,408	4,856 R2年度の 7/12の△1%	① 重機使用時のこまめな起動 ② 重機運転時の省エネ意識持続 ③ 適切にメンテナンスを行う	① 通年 ② 通年 ③ 通年	委託先 委託先 委託先
	車両燃料 kg-CO2	1,430	826 R2年度の 7/12の△1%	① 車両利用時の省エネ運転 (無用なふかし、速度超過等) ② 適切にメンテナンスを行う	① 通年 ② 通年	全員 総務課
水道使用量 m ³		136	79 R2年度の 7/12の△1%	① 事務所内での節水呼びかけ	① 通年	全員
一般廃棄物排出量 Kg		37.6 (R3/8月の 実績値)	261 R3/8の7ヵ月 分の△1%	① 廃棄物削減の呼びかけ	① 通年	全員
化学物質使用量		適正管理	適正管理 -	① 使用量等を管理する。 ② 適正な使用量を守る。	① 通年 ② 通年	整備課 委託先
4	従業員及び県民の環境意識高揚	研修見学対応 学校1回 会社等3回	研修見学対応 2回以上	① 内部勉強会 ② HP等への研修実施案内掲載 ③ 外部からの研修見学への対応	① 年1回以上 ② 通年 ③ 要請の都度	総務課
5	環境関連データの公表	各データ公表	各データ公表 -	① 環境経営レポートのHPへの掲載 ② 搬入量、水質検査結果等のHPへの掲載	① レポート改定時 ② 毎月	総務課

※ LPGについては、年間使用量が極小(2kg程度)のため、上記表に記載していない。

※ 電気の二酸化炭素排出量は、沖縄電力の令和3年1月公表の調整後二酸化炭素排出係数0.787kg-co2/kwhにて算出。

VIII 環境経営目標の実績

環境経営目標の実績

令和2年度の実績値を基準年として、令和3年度(9～3月)から6年度までの環境目標値を設定している。

期間内容		基準年	実施期間	実施期間結果	目標期間			結果等について
対象年		R2年度	R3/9～4/3月	R3/9～4/3月	R4年度	R5年度	R6年度	
項番	目標等 方針	実績値	削減目標等	実績値	削減目標等	削減目標等	削減目標等	
			削減率	比較結果 評価	削減率	削減率	削減率	
1	環境関連法規等の遵守	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	法令等遵守	実施期間における環境関連法規等は遵守されていた
			-	-	-	-	-	
				○				
2	地元との協調体制維持	協調維持	協調維持	協調維持	協調維持	協調維持	協調維持	試行期間における安和区協議会への参加、行事への参加を通じて、協調体制は維持された
			-	-	-	-	-	
				○				
3 環境負荷への対応								
二酸化炭素排出量	電気 kg-CO2	49,043	28,322	61,922	48,553	48,553	48,553	実施結果は、R3/9～3月の7ヵ月実績値
			R2年度の 7/12の△1%	218.6%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	水処理施設本格稼働及び搬入量増による水処理施設運用増により、増加。
				×				
	重機等燃料 kg-CO2	8,408	4,856	10,905	8,324	8,324	8,324	実施結果は、R3/9～3月の7ヵ月実績値
			R2年度の 7/12の△1%	224.6%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	搬入量増加、中間覆土作業等により重機等使用時間が増加したため増加。
				×				
	車両燃料 kg-CO2	1,430	826	684	1,416	1,416	1,416	実施結果は、R3/9～3月の7ヵ月実績値
			R2年度の 7/12の△1%	82.8%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	コロナ影響下で、外出減により減少。
				○				
	水道使用量 m ³	136	79	200	135	135	135	実施結果は、R3/9～3月の7ヵ月実績値
			R2年度の 7/12の△1%	254.0%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	R2年度の △1%	水処理施設本格稼働及び搬入量増による水処理施設運用増、及び少雨による施設散水量の増により増加。
				×				
	一般廃棄物排出量 Kg	37.6	261	279	447	447	447	実施結果は、R3/9～3月の7ヵ月実績値
		(R3/8月の 実績値)	R3/8の7ヵ月 分の△1%	107.0%	R3/8の12ヵ月 分の△1%	R3/8の12ヵ月 分の△1%	R3/8の12ヵ月 分の△1%	備品等購入による段ボール廃棄増、資料作成等による文書関連の廃棄増。
				△				
	化学物質使用量	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	全ての薬品について適正に管理された
			-	-	-	-	-	
				○				
4	従業員及び県民の環境意識高揚	研修見学対応 学校1回 会社等3回	研修見学対応 2回以上	研修見学対応 会社等13回	研修見学対応 年6回以上	研修見学対応 年6回以上	研修見学対応 年6回以上	エコ21内部勉強会を開催(R3/8, 11月) 外部からの研修見学は13回対応
				○				
5	環境関連データの公表	各データ公表	各データ公表	各データ公表	各データ公表	各データ公表	各データ公表	各データを毎月当社HPへ掲載した
			-	-	-	-	-	
				○				

○: 対応良好、△: 一部対応、×: 対応不良

※ LPGについては、年間使用量が極小(2kg程度)のため、上記表に記載していない。

※ 電気の二酸化炭素排出量は、沖縄電力の令和3年1月公表の調整後二酸化炭素排出係数0.787kg-co2/kwhにて算出。

IX 環境経営計画の評価

環境経営計画の評価

期間内容		実施期間	実施期間結果	主な取組計画	取組結果	評価
対象年		R3/9～4/3月	R3/9～4/3月			
目標等 方針	削減目標等	削減率	実績値 比較結果 評価			
1	環境関連法規等の遵守	法令等遵守 -	法令等遵守 - ○	① 関連法規の改定時の適時内容確認 ② 契約手続きの適法性確保 ③ 環境保全協定の随時確認	① 運用良好 ② 運用良好 ③ 運用良好	○
2	地元との協調体制維持	協調維持 -	協調維持 - ○	① 安和地区産廃協議会会議への参加 ② 環境保全協定の随時確認 ③ 地元行事等への積極参加	① R3/8, 11、R4/2, 3参加 ② 会議時確認 ③ 地区の会館落成式参加	○
3 環境負荷への対応						
二酸化炭素排出量	電気 kg-CO2	28,322 R2年度の 7/12の△1%	61,922 218.6% ×	① エアコンの適切な運用(夏場24～28° 設定等) ② 照明の適切な運用(不要な照明の消灯等)	① 運用良好 ② 運用良好 ※ 実績増は水処理施設の本稼働と搬入増による稼働増	△
	重機等燃料 kg-CO2	4,856 R2年度の 7/12の△1%	10,905 224.6% ×	① 重機使用時のこまめな起動 ② 重機運転時の省エネ意識持続 ③ 適切にメンテナンスを行う	① 運用良好 ② 省エネを意識して運転対応 ③ 処理水運搬車オイル交換実施 ※ 実績増は業務量増等による	△
	車両燃料 kg-CO2	826 R2年度の 7/12の△1%	684 82.8% ○	① 車両利用時の省エネ運転 (無用なふかし、速度超過等) ③ 適切にメンテナンスを行う	① 省エネを意識して運転対応 ※ 外出減による減少効果あり ② 業務車両定期点検実施	○
	水道使用量 m ³	79 R2年度の 7/12の△1%	200 254.0% ×	① 事務所内での節水呼びかけ	① 水道利用時に意識している ※ 水処理施設本格稼働及び搬入量増による水処理施設運用増、及び少雨による施設散水量増。	△
	一般廃棄物排出量 Kg	261 R3/8の7ヵ月 分の△1%	279 107.0% △	① 廃棄物削減の呼びかけ	① 削減は意識していた	△
	化学物質使用量	適正管理 -	適正管理 - ○	① 使用量等を管理する。 ② 適正な使用量を守る。	① 日次報告継続 ② 使用時に使用量確認	○
4	従業員及び県民の環境意識高揚	研修見学対応 2回以上	研修見学対応 会社等8回 ○	① 内部勉強会 ② HP等への研修実施案内掲載 ③ 外部からの研修見学への対応	① R3/8、11月開催 ② 掲載済 ③ 会社等13回対応	○
5	環境関連データの公表	各データ公表 -	各データ公表 - ○	① 環境経営レポートのHPへの掲載 ② 搬入量、水質検査結果等のHPへの掲載	① 予定 ② 月次報告分を毎月HPへ掲載	○

○:対応良好、△:一部対応、×:対応不良

※ LPGについては、年間使用量が極小(2kg程度)のため、上記表に記載していない。

※ 電気の二酸化炭素排出量は、沖縄電力の令和3年1月公表の調整後二酸化炭素排出係数0.787kg-co2/kwhにて算出。

X 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

1 当社に適用される環境関連法規等と遵守状況

	主な適用法規	遵守すべき主な事項	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	最終処分場の維持管理基準 マニフェストの保管他	○
2	安和地区協定書	モニタリングの実施と公表 運搬車両の運行ルート規制	○
3	消防法	消防訓練の実施 消火器の点検	○
4	浄化槽法	浄化槽の清掃・点検	○
5	フロン排出抑制法	機器の簡易点検	○
	〈廃棄物の処理及び清掃に関する法律に準ずるもの〉		
6	水質汚濁防止法	放流水の水質検査	○
7	下水道法	放流水の水質検査	○
8	TRTP法	薬品の安全管理	○

○:対応良好、△:一部対応、×:対応不良

2 苦情・訴訟について

当社への環境関連に関する苦情・訴訟は、試行期間中、無かった。

XI 代表者による全体評価と見直し検討

1 各項目の評価と見直し検討

項番	対象項目	評価	見直し検討事項
0	環境経営方針、行動指針	運用上、特に問題ない。	策定後、間もないことから現状通り。
0	実施体制	運用上、特に問題ない。	策定後、間もないことから現状通り。
1	環境関連法規等の遵守	試行期間中は遵守されていた。	今後も、遵守すること。
2	地元との協調体制確保	取り組みは概ね実行されていた。	今後も鋭意、取り組んでいくこととする。
3	環境負荷への対応 (環境経営目標の実績)	初年度(R2年度)に比べて、搬入量、業務量増により、試行期間中の目標は殆ど達成されなかったうえ、大幅増となる項目もあった。	搬入量の大幅増(R2年度4752t、R3年度7995tで68%増)により、搬入作業、水処理作業も増加したことが要因と思われる。今後は搬入量の推移を把握し、基準年の見直し等を含めた検討が必要である。但し、作業の効率化、改善等を日頃から意識し、環境負荷の抑制に向けた更なる努力を継続する必要がある。
3	環境負荷への対応 (環境経営取組の評価)	取り組みは概ね実行されていた。	上記3の見直し検討事項のとおり、搬入量増があるものの、環境負荷の抑制に向け取組を継続していく必要がある。
4	従業員及び県民の環境意識高揚	従業員への勉強会実施、外部からの視察見学等に対応した。	今後も、継続必要。
5	環境関連データの公表	毎月HPへの掲載、安和区協議会への報告等に対応した。	今後も、継続必要。

2 全体評価

・R2年度から事業を開始し2年目となるR3年度であり、R2年度に比べ大幅な搬入量増(68%増)があり、これに伴う業務量の増があったことや、水処理施設の本格的な稼働があったため、実施期間中の環境経営目標は達成されない、または前年度を大幅に上回った項目も見受けられた。

・また、環境経営取組は、まだ全体的に意識が弱含みと見受けられるが、環境実施体制、関連法規等遵守、環境意識の高揚、環境関連データ公表は概ね達成されていたと思慮される。

・今後も、搬入量、業務量の増加が見込まれる中、環境目標の適正な設定方法等を検討しつつ、その目標達成に向けて、鋭意努力していく必要がある。

3 実施日

令和4年6月13日